

百人一首 上の句と下の句を線で繋ぎましょう ⑤

わが庵は
都の辰巳
しかぞ住む

天の原
ふりさけ見れば
春日なる

山川に
風のかけたる
しがらみは

めぐり逢ひて
見しやそれとも
わかぬ間に

有馬山
猪名の笠原
風吹けば

ほととぎす
鳴きつる方を
ながむれば

流れもあへぬ
紅葉なりけり

世をうち山と
人はいふなり

三笠の山に
井でし月かも

いでそよ人を
忘れやはする

ただ有明の
月ぞ残れる

雲がくれにし
夜半の月かな